

第4回鹿児島県における新しい農業教育推進のための検討会

1 目的

本県は全国有数の農業県、食料供給県でありながら、一方では、農業就業人口の減少や高齢化の進行などを背景に、農業の担い手の確保・育成が喫緊の課題となっている。

T P P協定や農業の6次産業化など、食と農業を取り巻く様々な環境変化に即応できる創造性豊かな人材を育成するため、農業高校における教育内容の在り方、地域の特性を生かした農業高校の在り方等について検討する。

2 日時

平成28年12月20日（火） 9:30～11:30

3 議事内容

「提言書」作成に向けた意見のとりまとめ

4 委員からの主な意見

- 農業に夢や親しみが持てるような学びが必要である。
- ICTを利用した先進的農業に触れることで就農への意欲を喚起する。
- 国や県による農業支援策について高校生が知る機会を設ける。
- 先進的な企業の施設見学をすることで、最先端の農業に触れる機会を持つ。
- 人材育成のためには、海外での農業体験も有効である。
- 進路選択肢として就農（自営）だけではなく、農業法人への就職もあることを早期に示す必要がある。
- 農業と林業の関連性及び林業の必要性についての学びも必要である。
- 農業高校と他の機関とが連携を強化し、就農者を増やすという目的を共有することが大切である。

5 今後の予定

今年度中に提言書の提出を予定